

「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」の推進に向けた先導的な事例調査 実施計画

■調査の概要

「第6期科学技術・イノベーション基本計画」を踏まえて策定された「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画」では、国立大学法人等の施設について、キャンパス全体が有機的に連携し、社会の多様なステークホルダーが共創する拠点である「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」を目指すとされている。「イノベーション・コモンズ」の実現に向けた取組を推進するため、各大学等において実施されている、その実現に資すると考えられる先導的な施設整備の取組について調査を行う。

本調査については、調査方法や調査結果のとりまとめ方法等について「国立大学法人等の施設整備の推進に関するワーキング・グループ」（以下、「WG」という。）の意見を参考として、調査を計画・実施するものとする。

本調査の結果は、「イノベーション・コモンズ」の実現に向けた各大学等での推進方策や、国による支援方策等を検討するための資料として活用する。

■調査方法・実施時期

● 調査対象大学等：

刊行物、報告書、ウェブページ等により、調査対象候補となる事例を収集。調査対象大学等については、WGの意見を踏まえて決定。

（調査対象候補）

- ・国立大学 17校
- ・公立大学 4校・1機関
- ・私立大学 7校
- ・国立高等専門学校 5校
- ・大学共同利用機関 1機関
- ・その他 2施設

① アンケート調査：

調査対象大学等に対して、アンケート調査を実施。

（予定）

- －調査実施 令和3年12月中旬～令和4年1月中旬
- －結果の集計・検討 令和4年1月下旬～2月下旬

② 現地調査・ヒアリング調査

アンケート調査と並行して、個別の大学等への現地調査又はヒアリング調査を行う。調査対象大学等のうち、特に特筆すべき事例について、現地調査を実施する。その他の事例についても、オンラインや電話、メール等によるヒアリング調査を実施する。

（予定）

- －調査実施 令和3年12月以降順次行う
- －結果の集計・検討 調査の進捗に応じ、順次行う

<調査内容の概要>

※調査内容については、WG委員の意見を踏まえて決定。

- ・ 計画策定について（CMPの策定、大学のビジョン・計画との関係等）
- ・ キャンパス・施設の整備について（施設計画上の工夫、教育研究機能の強化等に向けた施設整備等）
- ・ 効果的な施設運用の工夫（共創の誘発、地域住民等を巻き込む仕掛け等）
- ・ 自治体・企業等との連携体制（全学的マネジメント体制等）
- ・ キャンパス・施設の有効活用（キャンパスを実証実験、人材育成の拠点と捉えた取組、相互利用、防災拠点等）
- ・ 多様な財源を活用した施設整備・維持管理（指定管理者制度、公共施設との複合化、企業による整備等）

■調査のとりまとめ

- アンケート調査及び現地調査・ヒアリング調査の結果について整理し、構成や取りまとめの方向性等についてWGにおいて検討し、WG委員の意見を踏まえて、先導的な事例調査の結果をとりまとめる。
- 本調査結果については、「国立大学法人等の施設整備の推進に関する調査研究協力者会議」の報告書の一部として、公表するものとする。

（予定） 令和4年2月下旬～令和4年夏頃